

医師と医師会を結ぶ情報紙

令和元年5月15日/毎月1回15日発行

都医 NEWS

Vol. 639

禁煙推進企業コンソーシアム発足	01
底流/地区医師会長連絡協議会報告	02
救急自動車譲渡式 ほか	03
東京都医師会功労賞表彰及び医学研究賞・グループ医学賞受賞記念講演会	04
日本医師会医療情報システム協議会 ほか	05
湾岸四都市医師会懇談会 ほか	06
みどりの広場 ほか	08
ふれあいポスト	09
都医からのお知らせ ほか	10
地区医師会長からの一言	12

発行所 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 ■ 1部75円



東京スカイツリーの鯉のぼり

撮影：大畑隆郎(板橋区医師会)

禁煙サポートにより健康的な企業を目指す！ 4月18日、『禁煙推進企業コンソーシアム』設立



祝辞を述べる小池知事

参加企業およびコンソーシアムが目指す未来は2面参照。

4月18日(木)、東京に本社や事業所を置く企業と東京都医師会や日本対がん協会が連携して『禁煙推進企業コンソーシアム』が設立され、東京都医師会館にて発足発表会が開催された。

発表会には、コンソーシアムに参加する23企業・団体が出席した。尾崎治夫東京都医師会会長による発起趣旨および取り組み概要の紹介に加え、参加企業の代表者13名が発壇し、各社のコンソーシアムへの入会理由、企業内禁煙推進に対する取り組みの狙いや意気込みを語った。

また、「東京都受動喫煙防止条例」を制定し、「健康ファースト」の実現に向けて積極的に取り組みを進めている小池百合子東京都知事もゲストとして登壇し、禁煙推進

菅トップにもコミットしていただくことを特徴としており、禁煙を少しでも検討している方をサポートしていく。そして、その方に少しでも長く健康でベストのパフォーマンスを発揮し続けていただくこと、つまり人生100年時代により健康であり続けるために企業から始めてもらう活動とご理解いただきたい。我々の活動がより多くの方々の健康増進、そして健康寿命の延伸へのきっかけになることを心より祈念している」と語った。



開会の挨拶を述べる尾崎会長

企業コンソーシアムの発足に対する祝辞を述べた。尾崎会長は、発足にあたり「本コンソーシアムは禁煙に特化し、さらに経

東京都医師会、日本対がん協会と連携し、21社が参加



禁煙推進を宣言するポーズで参加企業・団体の記念撮影が行われた

健康的な社会の実現に向けて、企業内の禁煙推進に賛同。そして禁煙希望者をサポートしていきます。

禁煙推進企業コンソーシアム

<https://kinen-support.com>
禁煙推進企業コンソーシアム 検索

底流

ACPと多摩検案

監察医制度の全都展開に向けた体制づくりの課題は、多摩地域の広さと検案医の高齢化と人手不足である。持てる資源をフルに使い、多死社会の検案業務を遂行する必要がある。

ACPが話題となっているが、このことを検案業務と関連付けて考えてみる。尊厳ある生き方を考えるACPの延長に尊厳ある死があると考えると、ACPと同じように人間の死因究明は重要である。特に、死亡診断書と異なる死因究明を間違いないで行うことで、人間として最後の尊厳が保たれるものと思っ

て東京都全域に監察医制度を導入することを国に求めることが盛り込まれた。それを受けて、今年2月の東京都死因究明推進協議会で具体的な検討スケジュールが提示された。いよいよ、監察医制度の全都展開が議論の俎上に上がったといえる。6月には中間答申も出す予定である。

多摩検案医の専門性の確保も求められる。日本医師会で行われる、検案医育成の基礎となる「更新時集団指導」が新たに追加された点であり、当該年度に指定更新を迎える保険医療機関が対象となる。また、本年度は診療報酬改定年度となるため「診療報酬改定時の集団指導」が実施される。全保険医療機関が対象となるため、会員への周知をお願いする。

多摩検案医の専門性の確保も求められる。日本医師会で行われる、検案医育成の基礎となる「更新時集団指導」が新たに追加された点であり、当該年度に指定更新を迎える保険医療機関が対象となる。また、本年度は診療報酬改定年度となるため「診療報酬改定時の集団指導」が実施される。全保険医療機関が対象となるため、会員への周知をお願いする。

多死社会に入った中で、2020年オリンピック・パラリンピックが迫り、外国人の来日が4000万人に迫ろうとしている。夏場の熱中症死者、熱中症死、薬物死、不明感染症による死、入浴中の死に見せかけた殺人等も増えることが予測される。検案医の出動は増えるばかりである。より良い死因究明体制の確立は待ってられないところにある。

地区医師会長連絡協議会報告

平成31年4月19日(金)

◎都医からの伝達事項

(1) 令和元年度指導計画(医科)について

関東信越厚生局東京事務所から本年度の「指導計画」が示された。平成30年度からの変更点は、6年ごとの保険医療機関の指定更新時に実施さ

(2) 胃がん・大腸がん検診に係る精密検査結果報告書東京都統一様式の地区医師会への情報提供について

1月の会長会で精密検査受診率向上・結果把握向上推進事業のモデル実施について説明した。胃がんおよび大腸がんの精密検査依頼書兼結果報告書については、1区3市練馬区、府中市、国立市、あき

(3) 平成31年度児童虐待対応研修【基礎講座第1回】の開催について

虐待相談が増加する中で、医療機関の診断能力と適切な初期対応が求められる。今回は、「児童虐待の医学的診断」をテーマに、6月10日(月)午後6時45分より東京ウィメンズプラザにおいて開

(4) 日医かかりつけ医機能研修制度平成30年度終了申請について

日医かかりつけ医機能研修制度の平成30年度の終了申請者は154名であり、平成28年度から開始された本研修制度の修了者は累計で343名となる。本制度は、今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のある

次回の応用研修会は5月26日(日)午前10時より東京都医師会館において開催する。

◎その他

(1) データバンクからの法人代表者の自宅住所の有料公開について(情報提供)
(北区医師会)

禁煙推進企業コンソーシアムへの参加企業および団体

- 株式会社 ID ホールディングス
- アフラック生命保険株式会社
- 株式会社イトーキ
- 株式会社榮太樓聡本舗
- 株式会社オートバックスセブン
- オムロンヘルスケア株式会社
- 協和発酵キリン株式会社
- 医療法人社団こころとからだの元氣プラザ
- 佐藤製薬株式会社
- 株式会社資生堂
- ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ
- 株式会社 SKY グループホールディングス
- 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社
- SOMPOヘルスサポート株式会社
- 公益社団法人東京都医師会
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 日本光電工業株式会社
- 公益財団法人日本対がん協会
- ファイザー株式会社
- ミサワホーム株式会社
- 株式会社メディアヴァ
- 株式会社龍角散
- ロート製薬株式会社

(2019年4月18日発足時 五十音順)

禁煙推進企業コンソーシアムが目指す未来

参加 2019 → 2020 → 2021 → 2022

3つのAGREE 宣言

- 1 企業内禁煙の推進
- 2 目標とマイルストーンの設定
- 3 情報の共有と発信

牽引

Share Broadcast

日本の喫煙率目標
現在の17.7%*から
↓
12%
健康的な社会へ

禁煙推進企業コンソーシアムのコミュニケーションロゴと「AGREE BAND」

当コンソーシアムへの参加を表明し、禁煙促進を「宣言」することから始める本活動を象徴するものとして、宣言する「手」をロゴのモチーフに採用。また本活動のテーマカラーであるブルーのシリコンバンド「AGREE BAND」を用意し、禁煙のアイコンとして機能させます。

関連する危険因子ごとの成人死亡者数*

危険因子	死亡者数(千人)
喫煙	128,900
高血圧	103,900
運動不足	52,200
高血糖	34,100
過剰のアルコール摂取	34,000
過剰の脂質摂取	32,700

* 2007年の調査結果と推定による成人死亡者数(推定)は、喫煙による死亡者数は128,900人、高血圧による死亡者数は103,900人、運動不足による死亡者数は52,200人、高血糖による死亡者数は34,100人、過剰のアルコール摂取による死亡者数は34,000人、過剰の脂質摂取による死亡者数は32,700人である。

出典: 厚生労働省 平成29年国民健康・栄養調査結果の概要

禁煙推進企業コンソーシアムのパンフレットより抜粋

救急自動車譲渡式

東京消防庁救急自動車を 病院救急車として活用する事業



都庁での譲渡式。左から新井理事、猪口副会長、尾崎会長、小池知事、村上消防総監、森住救急部長

東京都と東京都医師会との間で東京消防庁が使用廃止する救急自動車譲渡し、病院救急車として活用するための譲渡式が3月28日(木)に都庁において行われた。当日は小池百合子知事と尾崎治夫会長の間で譲渡に係る契約書への署名が行われ、猪口正孝副

を、会員の医療機関において病院救急車として運用する。
〔平成30年度に東京都医師会に譲渡される車両〕
東京消防庁にて使用廃止する救急自動車・計5台

東京都医師会が譲渡を受けた救急自動車を会員の医療機関が病院救急車として活用することにより、在宅療養患者の医療機関搬送や増え続ける転院搬送の需要に配慮するとともに、救急車の適正利用に寄与する。

【対象となる医療機関】

休日・全夜間診療事業参画医療機関(東京都指定二次救急医療機関)
休日・全夜間診療事業参画医療機関(東京都指定二次救急医療機関)

【事業の内容】

東京消防庁より東京都医師会が譲渡を受けた救急自動車



譲渡式後に都医会館で車両の引渡し。左から尾崎会長、森住救急部長

東京都医師会定例記者会見



尾崎会長

3月26日(火)に東京都医師会館において定例記者会見が行われた。

禁煙推進企業コンソーシアムについて

尾崎治夫会長
昨年6月に東京都受動喫煙防止条例が成立し、来年4月に施行される。これに伴い、禁煙希望者が増えることが予想される。また、健康経営や疾病予防に取り組む企業は、社員の健康を守る機運が高まっている。本会は、日本対がん協会と連携し、都内に拠点を置く企業と「禁煙推進企業コンソーシアム」を4月に設立する。国の「がん対策推進基本計画」では、「2022年度の喫煙率12%」を目標として掲げており、コンソーシアムでは、社員の健康増進のためにも喫煙率を12%に近づけることを共通目標として、社内禁煙を推進していく。禁煙の機運を高め、最終的には日本中の企業に参加してもらいたい。

ACP(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)について

渡辺象理事

将来、人生の最終段階を迎えるにあたって受ける医療やケアについて、患者が主体となって家族や医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、意思決定を支援するアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の普及に向けて、都民向け冊子『住み慣れた街でいつまでも』最期まで自分らしく暮らせるまち東京』を作成した。医療・介護・福祉等の専門職チームの取り組みを紹介している。人生の最期をどのように迎えるかは重いテーマであるが、都民に考えてもらいたい。

医療情報化支援基金に対する要望について

目々澤理事

東京総合医療ネットワーク

2020年開催の東京オリピック・パラリンピックに向け、麻しん対策の強化は必須である。関西・中部地区を中心に輸入症例からの2次3次感染が急増している。十分な発症予防の抗体価を有して

は昨年11月に「異なるベンダー間の連携」を含めた本格運用を8病院で開始し、現時点で10を超える病院から申し込みを受けている。今後は診療所の参加や第3ベンダーの参入、連携可能な項目の拡張などを予定している。

東京総合医療ネットワークでは、維持費が高額になりがちなサーバーやポータルを運営側に設置せず、既存の地域医療連携システムのデータセンター間を接続することで連携を実現しているため、過度な費用負担が発生せず持続性を確保している。

そして、本会はこの「データセンター間接続」方式であれば広域な地域医療連携が可能であると考え、そのために必要な「電子カルテデータの標準化」と「全国レベルでの患者名寄せの実現」について今年1月厚生労働大臣に要望書を提出した。その結果、医療情報化支援基金の資料に「電子カルテの標準化」という文言が盛り込まれた。

2020東京オリ・パラ大会に向けた麻しん対策について

鳥居明理事

2020年開催の東京オリピック・パラリンピックに向け、麻しん対策の強化は必須である。関西・中部地区を中心に輸入症例からの2次3次感染が急増している。十分な発症予防の抗体価を有して



鳥居理事

いない国民が一定数存在していること、麻しんは空気感染により伝播し感染力が強力であることから、一度発生すると蔓延の防止が困難であり、大会期間中に流行した場合、大会を中止せざるを得ないこともある。

麻しんはワクチンで防ぐことができる病気で、有効な対策はワクチン接種による発生の予防である。ボランティア募集の際には、ワクチン接種歴が確認されていないことを勘案し、①都市ボランティア(3万人)に対して、麻しん抗体価検査を行い、抗体陰性または抗体価低値の人にワクチンを接種、②大会関係者選考、大会ボランティア(約8万人)に対し、同様の検査を行い、必要ならワクチンを接種、③都民、国民に向けて、麻しんをはじめとする各種感染症に関する啓発活動を強化する、という3つの対策について早急に要望書を取りまとめ、関係機関に麻しん対策の必要性について発信していく。

参加メディア(敬称略)
日本医事新報社、社会保険研究所、じほう、EMスリー、CBNews、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、共同通信、時事通信、NHK、Donuts、病院新聞

受賞者一覧

《東京都医師会 功労賞》

1. 東京都医師会代議員 (通算10年在任)

- 林久太佳 (神田医師会) 市川尚一 (中央区医師会)
- 高田 潤 (足立区医師会) 市川和男 (江戸川区医師会)
- 土方 聡 (世田谷区医師会) 中村兼一 (荏原医師会)
- 猪狩和子 (豊島区医師会) 秋田博伸 (練馬区医師会)
- 孫田誠三 (八王子市医師会)

2. 東京都医師会医道審議委員 (通算10年在任)

- 青井禮子 (葛飾区医師会) 藤川雅彦 (北多摩医師会)

3. 東京都医師会委員会委員 (通算10年在任)

- 生活習慣病対策委員会 相川 丞 (玉川医師会)
- 都立学校心臓検診判定委員会 浅野 優 (品川区医師会)
- 公衆衛生委員会 西 純一 (江戸川区医師会)
- 学校精神保健検討委員会 埴 佳生 (日本橋医師会)
- 労災・自賠責委員会 魚住 葵 (江東区医師会)
- 感染症予防検討委員会 梶原宗介 (墨田区医師会)
- 乳幼児保健委員会 岡部信彦 (川崎市健康安全研究所)
- 地域医療推進委員会 神川 晃 (蒲田医師会)
- 学術委員会 川村益彦 (町田市医師会)
- 生涯教育委員会 木村 剛 (日本医科大学医師会)
- 健康食品の安全性に関する検討会 相馬正義 (神田医師会)
- 精度管理委員会 島田 潔 (板橋区医師会)
- 広報委員会 櫻岡浩一 (東京都皮膚科医会)
- 難病医療相談委員会 齋藤英治 (板橋区医師会)
- 救急委員会 坪田 淳 (港区医師会)
- 休日・全夜間診療事業実施対策協議会 城市貴史 (武蔵野市医師会)
- 地域包括ケア委員会 穂坂 茂 (荏原医師会)
- 三浦邦久 (東京大学医師会)
- 横田裕行 (日本医科大学医師会)
- 横山美貴 (青梅市立総合病院)
- 高木智匡 (北多摩医師会)

《東京都医師会 医学研究賞・グループ医学賞》

【医学研究賞 (3名)】

- 平池勇雄 (東京大学医師会)
東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教
『NFIAによる褐色脂肪組織のクロマチン制御機構』
- 宮本和享 (慶應医師会)
慶應義塾大学 循環器内科 共同研究員
『センダイウイルスを用いた安全な心筋直接誘導法の確立』
- 磯田健志 (東京医科歯科大学医師会)
東京医科歯科大学 小児科 助教
『ThymoD 転写による核内構造転換とT細胞運命決定』

【医学研究賞奨励賞 (6名)】

- 井上 剛 (東京大学医師会)
東京大学大学院医学系研究科 慢性腎臓病病態生理学 特任助教
『延髄のC1ニューロンを介した腎障害抑制のメカニズム』
- 杉本真也 (慶應医師会)
慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器) 特任助教
『生体内でのヒト大腸上皮の再構築』
- 梶原一紘 (慈恵医師会)
東京慈恵会医科大学産婦人科学講座 助教
『IPS細胞由来人工皮膚による脊髄髄膜瘤の新規治療法』
- 的場圭一郎 (慈恵医師会)
東京慈恵会医科大学内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科 講師
『転写因子KLF15による脂質ハンドリング』
- 久保田 馨 (日本医科大学医師会)
日本医科大学医学部内科学 (呼吸器内科学) 教授
『東アジア非小細胞肺癌に対するモテサニブの第3相試験』
- 永田紘子 (東京医科歯科大学医師会)
東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器内科 医員
『C型肝炎患者におけるDAA治療後発癌についての検討』

【グループ医学賞 (1団体)】

- 避妊教育ネットワーク (新宿区医師会)
北村邦夫 他134名 (非会員117名)
『若者への性の健康教育の実践と外来ネットワークの構築』

《医学生の活動 (地域公衆衛生あるいは社会・文化領域 など) に対する顕彰》

- 関東医学部勉強会サークルKeMA
- Team Medics
- 昭和大救急医療研究部
- Medical Future Fes

※敬称略 (記載は東京都医師会における地区医師会名簿順)



医学研究賞・グループ医学賞受賞者

最初に尾崎治夫会長から挨拶があり、続いて橋本雄幸理事から功労賞の表彰規定の説明が、落合和彦理事から医学研究賞・医学研究奨励賞・グループ医学賞の目的と選考経過についての説明が行われた。各受賞者には尾崎会長から表彰状が授与され、功労賞を受賞した青井禮子氏(葛飾区医師会)が受賞者を代表し

東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教 『NFIAによる褐色脂肪組織のクロマチン制御機構』

慶應義塾大学 循環器内科 共同研究員 『センダイウイルスを用いた安全な心筋直接誘導法の確立』

東京医科歯科大学 小児科 助教 『ThymoD 転写による核内構造転換とT細胞運命決定』

東京大学大学院医学系研究科 慢性腎臓病病態生理学 特任助教 『延髄のC1ニューロンを介した腎障害抑制のメカニズム』

日本医科大学医学部内科学 (呼吸器内科学) 教授 『東アジア非小細胞肺癌に対するモテサニブの第3相試験』

3月16日(土)、東京都医師会館において平成30年度東京都医師会功労賞表彰式及び医学研究賞・グループ医学賞受賞記念講演会が行われた。功労賞32名、医学研究賞3名、医学研究奨励賞6名、グループ医学賞1団体が表彰された。

最初に尾崎治夫会長から挨拶があり、続いて橋本雄幸理事から功労賞の表彰規定の説明が、落合和彦理事から医学研究賞・医学研究奨励賞・グループ医学賞の目的と選考経過についての説明が行われた。各受賞者には尾崎会長から表彰状が授与され、功労賞を受賞した青井禮子氏(葛飾区医師会)が受賞者を代表し

東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教 『NFIAによる褐色脂肪組織のクロマチン制御機構』

慶應義塾大学 循環器内科 共同研究員 『センダイウイルスを用いた安全な心筋直接誘導法の確立』

東京医科歯科大学 小児科 助教 『ThymoD 転写による核内構造転換とT細胞運命決定』

東京大学大学院医学系研究科 慢性腎臓病病態生理学 特任助教 『延髄のC1ニューロンを介した腎障害抑制のメカニズム』

平成30年度 東京都医師会功労賞表彰式及び 医学研究賞・グループ医学賞 受賞記念講演会



特別講演の今村日医副会長

東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教 『NFIAによる褐色脂肪組織のクロマチン制御機構』

慶應義塾大学 循環器内科 共同研究員 『センダイウイルスを用いた安全な心筋直接誘導法の確立』

東京医科歯科大学 小児科 助教 『ThymoD 転写による核内構造転換とT細胞運命決定』

東京大学大学院医学系研究科 慢性腎臓病病態生理学 特任助教 『延髄のC1ニューロンを介した腎障害抑制のメカニズム』



功労賞受賞者

平成30年度

日本医師会 医療情報システム協議会を開催



パネルディスカッション

3月2日(土)、3日(日)の両日にわたり、茨城県医師会(諸岡信裕会長)が担当となり平成30年度日本医師会医療情報システム協議会が文京シビックホールで開催された。本協議会は例年、日本医師会館で会員主体に450名規模で開催されていたが、本年は一般入場も募り(385名が参加)総計864名が参加した。

初日はメイン会場で「オンライン診療の現状と将来展望」とシンポジウム「医療分野のAIとIoT」が、サブ会場で「事務局セッション」が実施された。

「事例報告セッション」が行われた。都医からは事務局セッションで黒木美和専門課長が「ICTを活用した医師会業務の抜本改革」、目々澤肇理事が「シブシブな構成で持続性がある東京総合医療ネットワーク」の発表を行った。この反響として、医療ネットワークで先行する長崎県保健医療情報ネットワーク「HAI」について、2日目はメイン会場で「日医ICT戦略セッション」、シンポジウム「全国保健医療情報ネットワークについて」が、サブ会場で「サイボーグ型ロボット「HAL」について」と「医師資格証の利用について」が行われた。



メイン会場の様子

携学部部長から「医療分野のICT利用は特に遅れており、電子カルテは基本構造から作り直すべき」という意見も出て議論を呼んだ。

また伊藤伸昭日本医師会ORA管理機構推進部部長より保健医療記録共有サービ

の、サブ会場の広さが100名の規模のため立ち見が出るほどだったのに対し、1800名収容のメイン会場は空席が目立った。次年度は香川県医師会が担当となり、再び日本医師会館にて9月1日(土)・2日(日)の開催となることと公表された。

第2期「東京在宅医療塾」

第6回 生活期リハビリ・病診連携・ICTの活用

第2期「東京在宅医療塾」の第6回「生活期リハビリ・病診連携・ICTの活用」が3月9日(土)、東京都医師会館において開催され、その日から役立つ実学的知識を深めるとともに、将来像を共有し、第2期最終回の幕を閉じた。

生活期リハビリテーション 堀田富士子(東京都リハビリテーション病院 医療福祉連携室室長)

携と必要書類・届出の正確な処理という、円滑な実践に不可欠な知識を具体的に解説した。

ICT 目々澤肇理事

オンライン診療、SNS、東京総合医療ネットワークの最新情報とともに、今後の展望を示した。

本塾は現在、第3期を企画中である。より良い在宅医療のため、引き続き積極的に取り組んでいく。

英 裕雄(新宿ヒロクリニックス 院長)

診療報酬事例説明 太田雅也(世田谷ホームケアクリニック 院長)

中村哲生(永生会特別顧問)

適切な配慮に基づく病診連

症例をもとに、オンライン診療を含めて診療報酬算定方法を整理した。

講義のテキストと映像は本会ホームページにおいて公開している。閲覧には会員専用のID、パスワードが必要となる。不明な場合は所属の地区医師会へ問い合わせ願いたい。



受講者一同での記念撮影

東京都医師会発の情報を閲覧できる文書管理システムDocuShareをご存じですか

東京都医師会では文書管理システム「DocuShare」を用いて電子的に文書を管理しています。また、理事会で審議された文書はDocuShareを利用して地区医師会へお伝えする仕組みになっています。この地区医師会宛の通知文書は東京都医師会会員であれば自由に閲覧できるよう、内規が整備されています。

これまでこうした文書が会員の先生方に届くまでには、①東京都医師会理事会での検討、②地区医師会理事会での検討、③地区医師会から医療機関への配布、という3つのステップを経ないとなりませんでした。

しかし、会員の先生方にDocuShareをご活用いただくことで、いち早く東京都医師会からの情報を得ることができます。

右記にアクセス方法を解説いたしますので、ぜひ一読のうえご利用いただければありがたく存じます。

なお、閲覧には地区医師会毎に発行されたIDとパスワードが必要となります。

DocuShareのURL

<https://docsvr.tokyo.med.or.jp/docushare/>

※東京都医師会のホームページからもアクセスできます



地区医師会毎に会員用に発行されたIDとパスワードを入力



都医から地区医師会に発行した文書のPDFデータをご覧いただけます

の、サブ会場の広さが100名の規模のため立ち見が出るほどだったのに対し、1800名収容のメイン会場は空席が目立った。次年度は香川県医師会が担当となり、再び日本医師会館にて9月1日(土)・2日(日)の開催となることと公表された。

平成30年度 湾岸四都市医師会懇談会

2月27日(水)、都内のホテルにおいて平成30年度湾岸四都市医師会懇談会が開催された。湾岸四都市とは東京湾を囲む千葉市、川崎市、横浜市、東京都の4医師会で、年に1度の持ち回り当番で懇談会を開催している。



講演をする小林理事

今回は東京都医師会が当番で、尾崎治夫会長の開会の挨拶に続いて、千葉市医師会の斎藤博明会長、横浜市医師会の水野恭一会長、川崎市医師会の高橋章会長から各医師会の近況、話題などがそれぞれ簡単に披露された。

清水美津子元副会長 旭日双光章受章祝賀会



清水先生ご夫妻

2月23日(土)、都内のホテルで世田谷区医師会の清水美津子先生(元東京都医師会副会長、元世田谷区医師会会長)の旭日双光章の受章をお祝いする会が開催された。

清水先生の略歴とその業績について紹介があった。先生は昭和大学医学部を卒業後、同大皮膚科、耳鼻咽喉科を経て新潟大学皮膚科に入局し、昭和55年世田谷にて開業した。平成5年世田谷区医師会理事、13年より同会長、19年からは東京都医師会副会長を歴任している。



出席者も登壇して大合唱

清水先生からの謝辞は、今までお世話になった多くの方々への感謝の念とともに、何よりも夫への感謝の気持ちで伝わってきた。祝賀後は、旧知の仲である市川克美氏のギターとボーカルのグレース美香氏によって祝宴が開始され、各テーブルでは和やかに話の輪が広がっていた。

続いて、世界の大規模災害で問題となった感染症が紹介され、災害後に発生する可能性がある症候群が述べられた(図1)。この中で特異的な感染症が発生したこともある。さらに環境感染学会による支援範囲のイメージが示された(図2)。

「災害時の感染症対策」講演会開催

多摩ブロック医師会会長・副会長連絡協議会

多摩ブロック医師会会長・副会長連絡協議会が2月15日(金)に立川市内のホテルで開催された。当番医師会の林泉彦町田市医師会会長の開会挨拶の後、加来浩器防衛医科大学校防衛医学研究センター・広域感染症疫学・制御研究部門教授による講演会「災害時の感染症対策」(医療施設でのBCPを考える)が開催された。



出席者一同での記念撮影

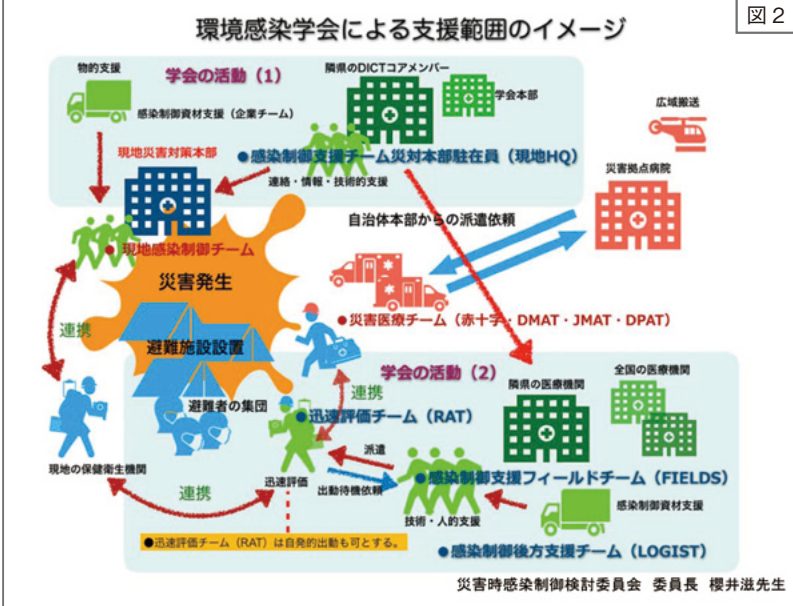


Table with 5 columns: Syndrome Group, Clinical Symptoms, Predicted Infectious Diseases, Treatment/Quarantine, and Infection Control Measures. It lists various conditions like acute respiratory, digestive, and skin infections.

都民に寄り添い、世界のモデルとなる「活力ある健康長寿社会」の実現を



参議院議員 武見敬三

として、「2040年までに健康寿命を3年以上延伸させる」という提案がなされました。「健康寿命」とは、自立して、日常生活に制限無く健康に生きることのできる寿命を言います。最新のデータでは、「平均寿命」との差は男性が約9歳、女性が約12歳あり、その間、寝たきりになるなど、何らかの介護サービス等を受ける状態となります。

健康寿命日本一と図書館の数日本一（人口あたり）

「健康寿命を3年以上延伸させる」ことは容易ではありません。というのも、現在我が国で一番健康寿命が長い山梨県の数字にすべての都道府県が並んだとしても、その延伸分は男性で1.07歳、女性で1.43歳に過ぎないからです。それを2040年までに3年以上延伸しなければなりません。

昨年放送のNHKスペシャルによると、図書館と健康寿命の延伸の因果関係については、「読みたい本を探して歩き回るので、いい運動になっている」とことや「さまざまなジャンルの本を借りること」で、知的な刺激を受ける」と等が可能性として指摘されました。

社会とのつながりとフレイル予防

高齢期に自立して生活できなくなる、要介護になる理由は、生活習慣病と「フレイル（虚弱）」と言われています。フレイルとは、心と身体の活力が低下した健康な状態と要介護状態の中間の状態であり、早く気付いて予防することが重要となります。

ような「模合」という仕組みがあります。また、お祭りの多い地域も健康寿命が長いことが指摘されており、これも住民と地域の関わりが健康につながる一例と言えるかもしれません。

「健康」の定義

WHO（世界保健機関）憲章の前文では、「健康とは肉体的にも、精神的にも、そして社会的（ソーシャル・ウェル・ビーイング）にも、すべてが満たされた状態にあることを言い、単に病気でないことか、弱っていないということではない」としています。

といった新たな技術の活用が挙げられます。さらに、子育て支援の充実などにより、女性の方々がより積極的に社会参画をできるような環境を作ることも優先課題です。また、健康な高齢者を増やし、彼らがそれぞれの地域社会の中で雇用の機会に恵まれ、一定の所得を確保できるようにすることで、社会に「支えられる側」から社会を「支える側」になってもらうことも重要です。これは同時に若年層の負担を減らすことにもつながり、社会の持続可能性を高めるでしょう。

令和元年と「活力ある健康長寿社会の実現」

新元号が「令和」と発表されました。本年は改元、つまり御代が替わる年ですが、偶然にも我が国の将来を左右する重要な年でもあります。何故なら、今年こそが急速な少子高齢化人口減少が予測される我が国にとって、最大の政策課題である「活力ある健康長寿社会」の実現に向けた決定的な一年となるからです。

出生率が

1944年〜1946年

1944年〜1946年

していた1944年から、復興していない兵隊の方も多かった1946年までの3年間、出生率が極端に下がりました。当時産まれた方々が、ちょうど2019年から2021年までの3年間で75歳を迎えることになりました。したがって、これからの3年間というのは、医療費・介護費が増えるのをたまたひたすら抑え込むという政策を取らずに、むしろ長期的な方針を国民的に議論するのにはちょうどいい環境にあります。そして政府はこの3年間を改革推進期間としました。

「健康寿命」と

「平均寿命」

その時の大きな目標の一つ

要因として指摘されるのは、人口に対する図書館の数がダントツの全国一位ということや、高齢者の雇用率（有業率）が全国2位と高いこと等が挙げられています。

普及により、退職後も地域のコミュニティの一員として居場所を確保できることが健康長寿につながるのでは、ないかという意見もあります。長寿県の沖縄県にも似た

活力ある健康長寿社会の実現を目指して

活力ある健康長寿社会を実現するためのその他方策としては、AIやIoT、ICT

しかし、21世紀の今日、世界の人口の高齢化が進む時代にあつて最先端の超高齢社会である我が国は、「世界のモデル」となる活力ある健康長寿社会を作る」という人類史的な役割を担うことが求められているといえます。

134 みどりの広場

医会のあらまし

東京都皮膚科医会 会長 早川道郎



東京都皮膚科医会は、現在約750名の会員を擁しています。この会は、日本臨床皮膚科医会の東京支部です。医

相互の行き来が活発となり、現在では大学などの勤務医と開業医がともに仕事をすると

新しい知識を取り入れ、長年培ってきたスキルを会員同士共有し、「明日から役に立つ

談「足裏ホクロの無料相談」、WEBによる「皮膚疾患」講演などを行い、都民への啓発活動に努めています。

また1992年に、近い将来にやってくる高齢者医療を見据え「みどりの広場」を開設しました。この活動は

現在も継続して行っており、2025年に向け、高齢者医療は現在、在宅へシフト



コロンバン原宿本店サロン外観

来年はオリンピックイヤーです。現在の代々木公園は、1964年に行われた東京オリンピックの選手村でした。当時この周辺は、

代々木競技場の体育館やNHK放送センターがあります。そこから南下すると渋谷駅まで繁華街が広がって

り、表参道につながっています。この表参道沿いに、1924年創業の老舗洋菓子店のコロンバン原宿本店

とびきりの渋谷 思い出の景色と味

趣味の散歩



表参道はアクセスが良く、おしゃれなお店がたくさんありますのでとびきりの散歩を楽しむことができます。また、一休みにコロンバン原宿本店サロンで、

「ギプスなくして整形外科なし」と言われた時代を経験した著者は、ギプスの機能を伴った美しさ短所を十分に熟知している。さらに、ギプスから進化したプラスチックキャストの素晴らしい長所も時代と共に経験してきた。

掲示板

Casting Manual プラスティックキャストで何が出来るか

佐々木 正 著



本書では、著者の臨床経験から多くの手技の実際を詳述してある。真の臨床家らしく、レントゲンと実際の写真を多く掲載して詳述しており、現場を見ているかのようなものに仕上がっているのが特徴である。

令和元年度 労災診療費算定基準・地方公務員災害補償制度 自賠責保険診療費算定基準の説明会

- 主催：公益社団法人東京都医師会／東京労働局／地方公務員災害補償基金東京都支部
一般社団法人日本損害保険協会南関東支部
損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター首都圏本部／東京労働保険医療協会
日時：6月3日(月) 13時30分～16時10分(開場13時)
会場：なかのZERO 小ホール(中野区中野2-9-7)
対象者：医療機関の請求事務担当者
演題：「労災診療費算定基準について」(60分)
「地方公務員災害補償制度について」(35分)
「自賠責保険診療費算定基準について」(40分)
参加費：無料
参加方式：事前申込不要の自由参加制(会場の定員(507名)になり次第締め切ります)

問合先 ▶ 東京都医師会 医療保険課 電話：03-3294-8838

知ってますか?

タフポリマー

「ポリマー」とは分子が鎖状や網状に連なった高分子化合物。基本的にはプラスチックや合成ゴムなど。「タフポリマー」とは、従来のポリマーに比べて、薄さを数分の一にしたり強度を数倍に高めたりした新たな材料のこと。

心れあいポスト



各地区会報から

中野区医師会

小川 純

女性の底力

大坂なおみの優勝、吉田沙保里の引退、卓球やスケートでの若きエースの登場など、優勝、引退と思いは悲喜こもごもであれ、女子の活躍に枚挙のいとまがない。女子パワーの凄さと、頼もしさを痛感する昨今である。

小学校から高校まで、女子校で育った私は、女子校をご経験の先生方をご存知であろうと思うが、決して、おしとやかな校風ではなく、逆に異性の目がないからか、やけに男っぽく、また、そういう子の方がクラスでも人気があり、ヒーローのような存在であった。思い出すと、恥ずかしくなるような、先輩とのバレンタインデーの交換や、交換日記なるものを交わして喜んでいた経験を思い出す。

先日、春光会*に参加させていただき、毎回、諸先輩方の企画発案の

と、感慨深い映画と素敵なディナーで、楽しいひと時を過ごすことができた。今月号に、写真と併せ、先生方が内容を執筆してくださっている。いつも思うことであり、月並みな言葉になってしまうが、諸先輩方の活躍ぶりは素晴らしい！ 圧巻！ の一言である。強い指導者のもと、統率の取れた春光会が末永く継承されていくことを願ってやまない。これから有事あるごとに、先生方から輝かしいエキスを少しずつでも頂戴できたら、と思う。

女子パワー全開を予感させる、これからの時代にのびのびと生きられることに感謝している。…と、カッコいいことを言っている私であるが、今冬の冷えには勝てず、いよいよ“命の母”の出番かな!!?

*中野区医師会の女性医師会員の会

(中野区医師会新聞 No.620から抜粋)

町田市医師会

加藤 雅彦

QOD (Quality of Death : 死の質)

本来医療は人を診るものであるが、過去において医学は病気を診る(治す)ことを優先する考え方が強い面があった。それ故、病気の治療のみに注意が向けられ、患者や家族の苦痛や要望に耳を傾けることが少なかったという反省がある。

現在の医療現場においては、十分な説明を受け十分に理解したうえで、対象者の自由意思のもとでの合意(インフォームド・コンセント:IC)による治療が必要とされている。完全に周知実行されているかには疑問もあるが、がん告知や手術・放射線・抗がん剤治療の選択やその中止、延命治療を希望するか?等がこれにあたる。

疾病治療の代表とも言えるがん治療を考えた時、早期発見・完治できることが当然理想であるが、進行がんが発見されることもあり、残念ながら余命宣告を受ける場合もある。がん治療を含めた終末期医療の場面では、Living will(自分で意思を決定・表明できない状態になった時に受ける医療について、あらかじめ要望を明記しておく文書。自分の尊厳死を守るため、医師による治療の制限を宣言しておくこと)や、QOL(Quality of Life:生活の質とも言われ、どれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見いだしているかをとらえる概念)を優先させることが重要とされる。

急病・事故等で救急搬送される場合はどうであろうか。総務省の調査では、2015年に全国で救急搬送された人は約548万人で、そのうち約12万人が心肺停止状態での搬送である。その7割超が70歳以上で、何とか命をとりとめても元の生活に戻っていないのが実情である。

待ったなしで進む日本の高齢社

会では、疾患や事故・急病による多死社会となり、「より良い逝き方」を考えるQOD(Quality of Death:死の質)という視点が注目されはじめてきている。最近「終活」という文字も見聞きすることが多い。QODを高めるためには、望んだ「死に場所」や治療法が得られ、苦痛が少なく、遺言・墓などの準備ができ、家族と過ごす時間があることなどが必要とされるが、現実にはこれとはかけ離れていることが多い。本人・家族・医療関係者間での認識の違いやコミュニケーション不足の他に、医療・介護の連携不足、高齢者の住環境など課題が山積みである。

QOLという言葉が浸透するのにも時間がかかったが、QODは上手く受け入れられるのだろうか? 社会全体での取り組みが必要で、日本人の宗教観や死生観の問題にも他人事ではなく向き合わなくてはならない。

(町田市医師会報 第528号から抜粋)



東京タワー 333 匹の滝登り

武蔵野市医師会 藤田光裕

無 声 拜 聴

キャッシュレス

患者さんが支払窓口で怒鳴っているのが聞こえてきた。「なんだ、カードが使えないのかよ、病院では使えないの」。大病院などの大規模な病院ではクレジットカード払いに対応しているそうだが、小規模の病院や診療所では今のところカードを使えるところが少ないようだ。

政府はあの手この手でキャッシュレス化を推進しており、消費税増税に合わせてクレジットカードなどのキャッシュレス決済をした消費者に対し、ポイントで還元する施策を打ち出している

（保険診療は対象外だが）。医療機関でのキャッシュレス決済は、現金をあまり持っていない訪日外国人の医療費不払い対策にもなるという。そもそも診療所でもキャッシュレス化を考えたほうがいいのかなあと考え始めたところ、折しも医師会で医療機関のキャッシュレス化についての勉強会があった。いつもの学術講演会とは出席メンバーの顔触れが異なるようだ。導入・運用費用がゼロ、クレジットカードだけでなく、交通系の電子マネーやQRコードを使用するモバイルウォレットなどに対応するシステムもあるという。操作方法も比較的簡単、となれば導入してみようかと心が動くが、一番のネックは手数料だろう。大病院では1%前後のようだが診療所では3%台だという。保険診療では手数料分を料金に上乗せすることは認められない。診療報酬の3割を患者さんが負担する場合には、手数料がその3%なら、医療機関の持ち出しは診療報酬の1%となる。

さて、これを大きいと考えられるのか、たいしたことないと考ええるのか？ （章晴明）

多剤耐性結核

WHO（世界保健機関）によると、2017年には世界で1,000万人が結核に罹患し、160万人が死亡したと推定されている。結核は未だに途上国を中心に増加傾向にある。我が国の結核患者数は順調に減少してきたが、結核罹患率は人口10万対13.3（2017年）と高く、依然として結核中蔓延国である。このような状況下で、現在世界的に耐性結核が問題になっている。

耐性結核菌は抗結核薬のいずれかに耐性のある結核菌を指すが、最も強力な治療薬であるイソニアジドとリファンピシンの両剤に耐性のある耐性菌による結核を多剤耐性結核（Multidrug-resistant tuberculosis：MDR-TB）という。この両薬剤のいずれかが欠けても結核の治療は難しくなる。ところが、MDR-TBの中に少なくとも一つの注射剤（カナマイシン、カプレオマイシン、アミカシン）と一種類のフルオロキノロン剤への耐性を獲得した超多剤耐性結核（Extensively drug-resistant tuberculosis：XDR-TB）が出現している。MDR-TBやXDR-TBは治療に難渋するだけでなく、予後も不良であり、感染対策上も十分な配慮が必要になる。我が国では、MDR-TBは過去5年間ではいずれの年も50人前後（47～56人）であり、患者数は少なく幸い増加傾向は見られない。

近年、MDR-TB用の薬剤であるデラマニドおよびベダキリンが登場し、治療成績が上がっている。しかしながら、MDR-TBの出現を抑える努力が必要であり、初回治療を規則正しく確実に遂行することが重要である。

（文責：永井英明）

感 染 症 豆 知 識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

都医からのお知らせ INFORMATION

第111回 東京小児科医会学術講演会

問合先 東京小児科医会事務局 TEL:03-5388-5220

日時▶6月16日(日) 13時～17時
会場▶東京医科大学病院本館 6階 臨床講堂
講演▶①「小児科医のための法律とトラブルの知識」桑原博道(仁邦法律事務所) ②「ヘルス・スーパービジョンについて」阪下和美(国立成育医療研究センター総合診療科・教育研修部) ③「飛行機と小児」サトウ菜保子(日本航空株式会社運航本部 運航乗員健康管理部兼 人財本部 健康管理部) ④「知っておきたい母子感染」高橋尚人(東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部 部長)
参加費▶3,000円
取得単位▶新専門医制度①専門医共通講習(医療安全)単位認定、③小児科領域講習単位認定

第118回 慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー

問合先 慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課内
生涯教育研修セミナー事務局
TEL:03-5363-3611 E-mail:med-somu-3@adst.keio.ac.jp

日時▶6月29日(土) 15時～18時20分
会場▶明治記念館 富士の間2
開会の辞▶村田 満(生涯教育研修セミナー委員長)
挨拶▶天谷雅行(医学部長・慶應医学会長)、小川 郁(慶應医師会長)
講演会▶「女性特有のがんにおける最近の話題」：①「癌診療の新たなトレンドを読み解く～婦人科腫瘍の視点から～」阪埜浩司(慶應義塾大学医学部産婦人科学(婦人科) 准教授) ②「乳癌診療の最新情報」井本 滋(杏林大学医学部乳腺外科 教授) ③「ゲノム医療時代における女性のがん」平沢 晃(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座(臨床遺伝子医療学分野) 教授)
モデレーター▶青木大輔(慶應義塾大学医学部産婦人科学(婦人科) 教授)
参加費▶無料
取得単位▶日医生涯教育制度参加証交付3単位(カリキュラムコード:1、2、73)
次回セミナー開催予定▶10月12日(土)

第36回糖尿病Up・Date 賢島セミナー 「高齢者と併発症へのシームレスな対応 —予知と予防で重篤化を未然に阻止—」

問合先 中部労災病院 堀田 饒 名古屋市港区港明1-10-6
TEL:052-652-5511(内線7174) FAX:052-652-5623

日時▶8月24日(土) 14時～22時、25日(日) 8時20分～12時
会場▶志摩観光ホテル ザクラシック(三重県志摩市阿児町神明731)
セミナー▶[24日] I「高齢者糖尿病の病状に応じた管理」：講演「高齢者糖尿病の病態と血糖管理の在り方」加来浩平(川崎医科大学)、II「超高齢化を迎えての糖尿病薬物療法のパラダイムシフト」：講演「糖尿病の管理・治療のドリーム」門脇 孝(東京大学)
[25日] III「超高齢化社会を迎えた対合併症戦略」講演：「糖尿病性神経障害の病態と対応を末梢と中枢からアプローチ」中村二郎(愛知医科大学)
申込方法▶氏名、住所、電話番号を明記のうえ、FAX(052-652-5623)にてお申し込みください(定員100名)。
参加費▶50,000円(proceedings代、8月24日夕食・8月25日昼食含む)※宿泊費別途
セミナー記録▶セミナーの記録は1冊の本にまとめられ出版されます。
取得単位▶日医生涯教育制度7.5単位(カリキュラムコード:7、9、10、73、76)

医師国保からのお知らせ

～加入資格を喪失した場合は、必ず届出が必要です～
※被保険者証は返還してください

下記に該当した場合は、添付書類、被保険者証とともに医師国保組合へお届出をお願いいたします。

<資格喪失の届出が必要な場合>

- 第1種・第3種組合員(医師)が医師会を退会、又は医療の業務に従事しなくなったとき
- 第2種・第4種組合員(従業員)が退職したとき
- 家族が世帯から転出したとき
- 定められた地区外に住所を異動したとき

各種届出に必要な書類は、所属地区医師会・大学医師会にございます

東京都医師国民健康保険組合 ☎03-3270-6433 (業務課)

日本医師会生涯教育講座

日時 令和元年6月13日(木)
午後2時～5時
場所 東京都医師会館 2階講堂
(千代田区神田駿河台2-5)
TEL:03-3294-8821(代表)

日本医師会生涯教育制度 合計2単位
カリキュラムコード 51、52
日本内科学会認定総合内科専門医更新単位 2単位

機能性ディスペプシア(FD)の病態生理

座長 東京都医師会理事

落合和彦

東京医科大学消化器内視鏡学

主任教授

河合隆先生

日本医科大学消化器内科学

主任教授

岩切勝彦先生

共催 東京都医師会
株式会社ツムラ

FDの薬物療法を考える 河合隆先生

現在はH.pylori感染率が30%以下となり、H.pylori除菌療法も広く普及している。このためH.pylori感染関連消化性潰瘍は激減し、NSAIDsやLDA潰瘍がほとんどである。代わりに胃・食道逆流症や機能性ディスペプシアが増加し、上部消化管疾患の構造に変化が生じている。

機能性ディスペプシアの診断は、胃十二指腸領域に由来すると思われるディスペプシア症状があり、こ

の症状を説明できる器質的、全身性または代謝性疾患がないものとされている。より明確な定義としては、つらいと感じる食後のもたれ感、早期飽満感、心窩部痛、心窩部灼熱感のうち一つ以上の症状があり、これらの症状が6カ月以上前からあって最近3カ月あるものと定義されている。治療としては、胃酸分泌抑制剤のほか消化管運動機能改善薬や漢方薬の一部が推奨されている。

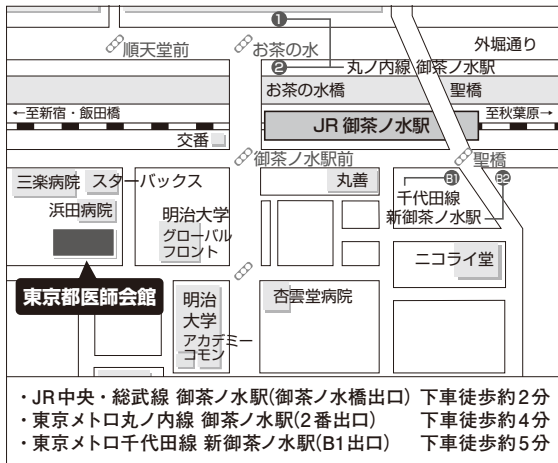
GERDの病態から考えるFDとGERDのオーバーラップ 岩切勝彦先生

機能性ディスペプシア(Functional dyspepsia: FD)は良性疾患であるが、FD症状(胃もたれ、心窩部痛、膨満感、食後の早期飽満感)が長期間持続することにより、患者のQOLを著しく低下させる疾患である。FD患者数はFD症状を主訴に

FDやIBSとオーバーラップしていることが報告されている。本講演では、FDとGERDの病態からみた両疾患のオーバーラップの可能性およびFD、GERD症状合併例での診断・治療について述べる。また、FDの病態の一つとして胃粘膜知覚過敏の存在が報告されているが、われわれは通常の内視鏡検査において胃粘膜知覚過敏の評価方法を開発したので紹介する。

医療機関を受診した患者の約半数であると報告され、国民全体で見ると10〜20%程度がFDであると考えられている。FD患者の多くはGER

と重複している。本講演では、FDとGERDの病態からみた両疾患のオーバーラップの可能性およびFD、GERD症状合併例での診断・治療について述べる。また、FDの病態の一つとして胃粘膜知覚過敏の存在が報告されているが、われわれは通常の内視鏡検査において胃粘膜知覚過敏の評価方法を開発したので紹介する。



・JR中央・総武線 御茶ノ水駅(御茶ノ水橋出口) 下車徒歩約2分
・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅(2番出口) 下車徒歩約4分
・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅(B1出口) 下車徒歩約5分

医師と医師会を結ぶ 情報紙

都 医 ニュース
NEWS

2019

Vol.
639

地区医師会長からの一言

医療と介護の街蒲田を目指す

蒲田医師会長 横川敏男



大田区は東京湾と多摩川に接し、蒲田はその最南部にあります。蒲田医師会は2年後に創立70周年を迎えます。現在A会員193名、B会員93名で医療機関は診療所173軒、病院14軒です。

皆様は蒲田と聞くと何を連想なさいますか？羽付き餃子の街。松竹撮影所の在った街。朝の連続ドラマ『梅ちゃん先生』の舞台となった街等々。そのなかで蒲田医師会は「医療と介護の街蒲田」を目指します。いつでも必要な時に良質な医療と介護が受けられる、暮らしやすい街を意味します。医療と介護の街を目指していくには、医療と介護の連携を図り、地域包括ケアシステムを強力に推進する必要があります。そのための大きな力として、多職種連携を図る目的で定期的開催している「梅ちゃんカフェ」があります。医・歯・薬・看護・介護等の関係者が気軽に顔を合わせて交流を深め、地域の課題を考えていこうという会です。毎回100名程度が参加して盛大に行われています。

大田区には蒲田のほか大森医師会・田園調布医師会があります。各医師会の執行部には旧大田区学校医会出身者が多く、気心が知れており連携がうまくいっています。さらに東邦大学医師会とも連携をして行政との協議や事業を行っています。

蒲田医師会の管内には日本の空の表玄関、羽田空港があります。2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、そして2025年大阪万博と、今後は国際的イベ

ントが目白押しです。また一方では首都直下型地震の懸念もあります。空港の存在もあり、東邦大学や大田区と連携し、緊急医療救護所訓練への協力など、災害時医療の充実にも力を入れています。毎年行われている東京国際空港航空機事故対処訓練にも参加しています。

小中学校のがん教育をはじめとして、喫煙による健康被害の啓発やがん検診への協力などを行っています。大田区と連携し、小児医療・障がい者サポートにも力を注いでいます。

学術団体としての活動では、大森・田園調布両医師会とともに東邦大学やその他の基幹病院と連携し、講演会や研修会を開催しています。これには蒲田医師会学術集談会や、三医師会持ち回りでやっている大田区医学会などがあります。今後も良質な医療を区民に提供するため、積極的に学術活動を行っていきたいと考えています。

地区医師会は地域医療に尽くす医師のための組織であり、会員の利益を守るという大切な役割も担っています。そのうえで社会的な貢献に取り組んでいくことが地区医師会の使命だと思います。

蒲田医師会は、他の地区医師会とも連携を図りながら目標に向かって進んでいきたいと考えています。今後とも皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

日本医師会認定産業医制度における研修会開催案内

※下記の都内の情報については、東京都医師会のホームページ(<http://www.tokyo.med.or.jp/> → 「産業医情報」 → 「研修会スケジュール」)にてご覧になれます。

名称および主催	日時	会場	定員・受講料	申し込み方法	申し込み先・申し込み締切	研修単位	研修内容
「東京都医師会・中央区医師会産業医研修会」 東京都医師会主催	2019.7.7(日) 9:45~18:10	有楽町朝日ホール 千代田区有楽町2-5-1 TEL.03-3284-0131	700名 (非会員の受講可/ 事前徴収) 中央区医師会員 3,000円 東京都医師会員 8,000円 道府県医師会員 10,000円 非会員 12,000円	ヒューマン・リサーチのホームページより申込み。または、申込書を電話にて請求の上、FAXにて申込み。 http://www.human-research.jp/kensyukai/kensyu_ninsk.html	中央区医師会 産業医研修会事務局 〒160-0011 新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F ヒューマン・リサーチ内 TEL.03-3358-5360 FAX.03-3358-4002 申込締切日 2019年6月14日(金)	非認定産業医は基礎研修(後期)7単位 認定産業医は生涯研修(更新)1.5単位(専門)5.5単位	①講演「職場のメンタルヘルス対策」 ②講演「働き方改革と労働安全衛生法に関する動向」 ③講演「教員の過重労働対策」 ④講演「産業医の職務としてのストレスチェック」 ⑤講演「職場におけるハラスメント対策」
「東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会」 東京都医師会主催	2019.7.27(土) 13:00~18:20	青梅市立総合病院 青梅市東青梅4-16-5 TEL.0428-22-3191	150名 (非会員の受講可/ 事前徴収) 東京都医師会員 10,000円 道府県医師会員 12,000円 非会員 14,000円	ヒューマン・リサーチのホームページより申込み。または、申込書を電話にて請求の上、FAXにて申込み。 http://www.human-research.jp/kensyukai/kensyu_ninsk.html	西多摩医師会 産業医研修会事務局 〒160-0011 新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F ヒューマン・リサーチ内 TEL.03-3358-5360 FAX.03-3358-4002 申込締切日 2019年7月12日(金)	非認定産業医は基礎研修(実地)3単位(後期)2単位 認定産業医は生涯研修(更新)1単位(実地)3単位(専門)1単位	①講演「働き方改革と労働安全衛生法に関する動向」 ②講演「職場のメンタルヘルス対策」 ③実地「高齢労働者の安全と健康確保の取組み(「エイジアクション100」を学ぶ)」 ④実地「化学物質のリスクアセスメント CREATE-SIMPLEを学ぶ」 ⑤実地「職場における疲労対策」